

クサネム・イボクサを しっかり防除!



米の等級を落とすクサネム
種子の混入を防ぎます。

クサネムに対する効果 (14日後)



ノミニー処理 (50ml/10a)



無処理

イボクサに対する効果 (14日後)



ノミニー処理 (50ml/10a)



無処理



水稻用クサネム・イボクサ防除剤

ノミニー[®] 液剤

特 長

1.クサネムに対する強力な殺草効果

米の等級を落とす要因の一つであるクサネム種子の玄米や白米への混入を、適期防除による枯殺または結実抑制により防ぎます。

2.イボクサに対する優れた効きめ

畦畔から侵入してくる難防除雑草のイボクサに対して、優れた防除効果を発揮します。

3.直播水田に使用可能

乾田直播だけではなく、湛水直播でも使えます。また、入水後も落水して茎葉散布ができるようになりました。

適用雑草及び使用方法

※ビスピリバクナトリウム塩を含む農薬の総使用回数:1回

作物名	適用 雑草名	使用時期	10アール当り使用量		本剤の 使用回数	使用方法
			薬量	希釈水量		
移植水稲	クサネム	移植後30日～クサネムの草丈40cmまで 但し、収穫60日前まで	50～ 100ml			落水散布 または ごく浅く湛水して散布
	イボクサ	移植後30日～イボクサの茎長30cmまで 但し、収穫60日前まで				
直播水稲	一年生雑草	乾田直播のは種後10日～ノビエ5葉期まで 但し、収穫60日前まで	100～ 200ml	100ℓ	1回※	乾田・落水状態で雑草茎葉散布 または全面散布
	クサネム	稲4葉期以降（入水後）～クサネムの草丈40cmまで 但し、収穫60日前まで	50～ 100ml			
	イボクサ	稲4葉期以降（入水後）～イボクサの茎長30cmまで 但し、収穫60日前まで				

上手な使い方(移植水稲)

本剤は移植30日からの適用(クサネムの草丈40cm以下、イボクサの茎長30cm以下、但し、収穫60日前まで)がありますが、より安定した効果と薬害を生じないように使用するために、使用方法及び使用上の注意を守るとともに、特に次の点に注意してください。

1.適期に散布する

- ・移植30日以降、クサネムの草丈40cm以下(茎が堅くなる(木化)前)、イボクサの茎長30cm以下で散布してください。
- ・また、幼穂形成期から乳熟期の水稲には出穂・籾の品質に影響するおそれがありますので、この時期には使用しないでください。



2.使用方法

- 均一散布……・土壌処理効果がほとんどないので、雑草の生育期に薬液が茎葉全体に均一にかかるように散布してください。また、雑草が大きくなりすぎると効果が低減するので時期を失ないように散布してください。
- ・重複散布は薬害のおそれがあるので避けてください。
- ・処理後、草丈抑制、黄化症状及び葉先枯れが見られる場合があるので、なるべく水稲にかからないように散布してください。
- 散布薬量……10アール当り製品量50～100mℓです(高温条件下では低めの薬量で使用してください)。
- 散布流量……10アール当り100ℓの水に希釈して、薬液が雑草の茎葉全体にかかるように加圧噴霧器等で散布してください。

3.水管理

- 散布時……雑草が水中にある場合は効果がないので、落水状態またはごく浅水状態(雑草が完全に水面上に出る状態)にして、雑草の茎葉全体に薬液が付着するようにしてください。
- 散布後……薬剤を雑草に十分に吸収させるため、3日以上落水(浅水)状態を保ってください。また、散布後に6時間以内に降雨が予想される場合は使用をひかえてください。降雨により茎葉面の薬剤が流れ、除草効果が低下することがあります。また、処理翌日以降であっても雑草が水中に沈む程度の降水があると除草効果が低下することがあります。

4.圃場条件、その他

- ・周辺作物に散布薬液が飛散すると薬害を発生させるおそれがありますので、他作物の生育期の隣接田で使用する場合には十分注意して散布してください。
- ・器具、ホース等は散布が終わったら必ず洗浄し、水通しをしてください。

使用上の注意

- 沈殿が生じることがあるので、よく振ってから使用してください。
- 眼に入らないように注意してください。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。使用後は洗眼してください。
- かぶれやすい人は取り扱いに注意してください。
- 保管：直射日光を避け、食品と区別してなるべく低温な場所に密栓し保管してください。

詳しい使い方、
登録内容とSDSは
こちらから。



●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌を記載しましょう。

本資料は2025年10月現在の知見に基づき作成しています。 2603(26-7)